

中央電気倶楽部月報

◎巻頭言
「新年のごあいさつ」

◎午さん会講演録
「最近の金融経済情勢と先行きの見通し」

／理事長（代表理事） 津賀 一宏 氏

／日本銀行 大阪支店 副支店長 村國 聡 氏

2023
1
Vol.847

中央電気倶楽部月報

令和五年一月一日発行 一般社団法人中央電気倶楽部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目二十五 電話〇六―六三四五―六三五（代） FAX〇六―六三四五―六八七七

倶楽部からのご案内

令和四年度 定例午さん会皆勤・精勤表彰

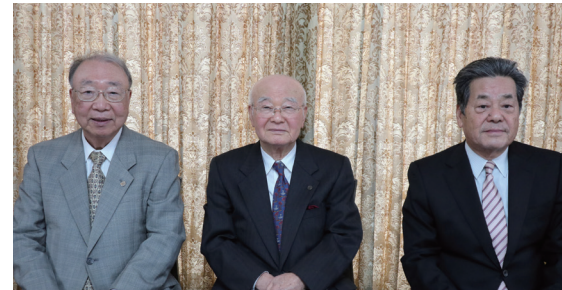
（令和三年十二月一日）

令和四年十一月三十日を対象

十二月十六日（金）の定例午さん会において、恒例の皆勤・精勤表彰（期間中開催回数四十回の二分の一以上出席者を行いました）。なお、表彰の方々は次のとおりです。

皆勤賞	四十回 市川 克彦 君
	四十回 河内 正志 君
	四十回 土田 博 君
精勤賞一級	三十九回 白水 稔郎 君
	三十八回 景山 績 君
	三十八回 高木 二弘 君
	三十八回 野上 勝也 君
	三十六回 黒井 治 君
	三十六回 中島美緒子 君
精勤賞二級	三十五回 伊貝 武臣 君
	三十五回 十河 元生 君
	三十四回 鈴森 惇 君
	三十四回 宮崎 進一 君
	三十四回 高森 寛治 君
	三十三回 齊藤 紀彦 君
	三十三回 只井 保 君
	三十二回 中田 恭二 君
	三十二回 土方 利洋 君
	三十一回 西牧 隆利 君
	三十回 宝田 豊昭 君
精勤賞三級	二十九回 池田 捷年 君

皆勤賞



市川 克彦さん 土田 博さん 河内 正志さん

精勤賞四級	二十九回 山本 雅常 君
	二十八回 川越 英二 君
	二十七回 黒川 勝 君
	二十七回 西田 和正 君
	二十六回 妹尾 由明 君
	二十五回 藤澤 信之 君
	二十四回 猪谷 勇三 君
	二十三回 根岸 学 君
精勤賞五級	二十三回 橋爪 守 君
	二十一回 井戸 幹雄 君
	二十一回 上 敏郎 君
	以上三十二名

新春講演会開催のご案内

令和五年の新春講演会を（一社）日本電気協会関西支部との共催で開催いたします。本講演会は近畿経済産業局長を講師に迎えて、関西経済の未来についてお話しいただく新春の恒例行事です。皆様方多数のご来場を歓迎いたします。

日時 令和五年一月十六日（月）
十四時～十五時

場所 （一社）中央電気倶楽部五階大ホール
演題 「関西経済の未来に向けて
～ウイズ／ポストコロナの時代～」

講師 近畿経済産業局長

伊吹 英明 氏

※都合により変更する場合がございます。

聴講料 無料
定員 一一〇名（先着順）

申込方法 倶楽部事務局に電話、FAXまたはEメールで所属団体名、役職名、氏名をご連絡下さい。お名前を登録いたします。（日本電気協会関西支部会員のの方は関西支部にお願いします。）
締め切り 令和五年一月十日（火）
ただし、先着百十名様で締め切ります。

TEL 〇六―六三四五―六三五（代）
FAX 〇六―六三四五―六八七七
Eメール info-cd@chuodenki-club.or.jp



「近代化産業遺産」プレート

目 次

1月のスケジュール ― 2
2月の予定
巻頭言 ――― 4
写 真 ――― 5
講演録 ――― 6～14
倶楽部だより ― 15～16
同好会だより ― 17～19
倶楽部からのご案内 ―20

創 立：大正3年11月
建物(本館)：昭和5年竣工
会 員 数：1,446名

法人指定会員
1,203名
個 人 会 員
243名
(R.4.12.未現在)

一月のスケジュール

一	日	元日(休館日)
二	月	休館日
三	火	休館日
四	水	仕事初め(平常通り開館)
五	木	
六	金	
七	土	将棋部委員会(二〇一〇号室) 将棋部初指し会(指導あり) 撞球部例会
八	日	
九	月	成人の日(休館日)
十	火	
十一	水	電寿会総会・新年会(三二六号室) 社交ダンス教室(B一〇号室)
十二	木	
十三	金	
十四	土	囲碁部例会
十五	日	
十六	月	新春講演会 五階大ホール(十四時～十五時) 講演『関西経済の未来に向けて ～ウィズ/ポストコロナの時代～』 近畿経済産業局長 伊吹 英明 氏
十七	火	年賀交歓午さん会(電寿会・電社会・青年会合同) 十二時～十三時三十分(大食堂)
十八	水	絵画部(水彩画)(B一〇号室)(十三時～十五時) 社交ダンス教室(B一〇号室)
十九	木	
二十	金	午さん会 休会
二十一	土	初・中級者向け囲碁教室(十時～十二時・二〇五号室) 囲碁部指導(新年会・特別食堂) いなづま句会(三二七号室)
二十二	日	
二十三	月	
二十四	火	
二十五	水	ゴルフ部例会(泉南CC) 社交ダンス教室例会(B一〇号室)
二十六	木	
二十七	金	午さん会 講演『激動する世界情勢を読む』 桃山学院大学 法学部教授 (二社)平和・安全保障研究所研究委員 松村 昌廣 氏
二十八	土	将棋部例会(指導なし)
二十九	日	
三十	月	
三十一	火	理事会(十三時～十四時) 評議員会(十一時～十二時) ゴルフ部委員会・懇親会

※予定変更の場合は改めて連絡いたします。

一月の午さん会講演

◎一月十七日(火)
年賀交歓午さん会 十二時から
会 場 当倶楽部三階大食堂
次 第 ・津賀理事長挨拶
・受章者紹介
・祝宴(十三時三十分頃閉宴)
「箏で寿ぐ新春の調べ」
大阪音楽大学
特任准教授 片岡 リサ 氏
会 費 二、五〇〇円(消費税含む)
準備の都合上、事前に事務局にお申し込み下さい。
先着六十名とさせて頂きます。(予約制)
※同伴者一名参加可 会費は会員と同額です。

◎一月二十日(金) 休会
◎一月二十七日(金)
講演『激動する世界情勢を読む』
桃山学院大学 法学部教授
(二社)平和・安全保障研究所研究委員
松村 昌廣 氏

新春講演会(日本電気協会関西支部中央電気倶楽部共催)
◎一月十六日(月) 十四時～十五時(五階大ホール)
講演『関西経済の未来に向けて
～ウィズ/ポストコロナの時代～』
近畿経済産業局長 伊吹 英明 氏

二月の午さん会講演(予定)
◎二月三日(金)
講演『二人ひとりの教育的ニーズ
～子ども孫も、そしてあなた自身も～』
(株)イングラムジャパン 代表取締役
(財)日本教育支援機構 主席研究員
笹田 能美 氏
◎二月十日(金)
講演『手数料が世界経済を決定する
コミッション・キャピタリズムの
形成から現代まで』
京都産業大学 経済学部 教授
玉木 俊明 氏
◎二月十七日(金)
講演『緊迫する台湾情勢と米中対立の行方』
東京外国語大学 教授
小笠原 欣幸 氏
◎二月二十四日(金)
講演『岸田政権と統一地方選挙の行方
～ポストコロナの政治を考える～』
NHK放送文化研究所 主幹
島田 敏男 氏

午さん講演会に
ご出席のおすすめ

毎週金曜日の午さん講演会は、下
記の要領で開催いたしております
ので、多数ご出席ください。

出席資格：倶楽部会員およびご同
伴の方、会員会社の社
員の方

時 間：12時～13時40分頃
(講演12時40分～13時40分)

場 所：3 階大食堂

食 事 代：一人2,200円(税込)

予 約：不要

着 席：自由着席

「新年のごあいさつ」

理事長(代表理事) 津賀 一宏
(パナソニックホールディングス株式会社
取締役 会長)



会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては清々しい気持ちで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はロシアによるウクライナ侵攻や、新型コロナウイルスの流行の波が何度となく押し寄せたことなど、重苦しい空気に支配された一年でした。しかし、そういった中でも知恵と経験を重ねて新しい知見とスタイルを取り入れ、困難を克服していくという動きもいろいろなところで始まり、あれだけ制限された観光や飲食なども含め、徐々に平静を取り戻しつつあるように思います。

当倶楽部におきましても新たな食堂事業者様を迎え、長らく閉めていた喫茶室を再開したほか、映像システムを新調したホールを利用したイベントや、貸会議室のご利用も徐々に増加して参りました。こうしたことで会員様が足をお運びいただく機会が徐々に増えておりますことを、心から有難く思っています。

昨年末に開催されたサッカーのワールドカップで森保監督が率いる日本チームが大活躍し、決勝リーグ進出を果たされたことは皆さんの記憶に新しいところかと思いますが、試合後、森保監督は「選手たちは『新時代』をみせてくれた」とコメントされました。

当倶楽部も、森保監督がいわれる「新時代」、「新しい未来」を描くという意気込みを持って、今年も知恵を絞り、新しいことにも積極的にチャレンジし、卯年の大ジャンプを果たして参りたいと思

いを強くした次第です。

さて、大正三年に関西の電気業界関係者が中心となって設立された中央電気倶楽部は、今年の十一月、いよいよ創立一一〇周年という節目を迎えます。

創立以来、長きにわたり会員の皆様の交流の場として愛され、業界の進歩・発展や学術・文化の普及、向上に貢献し続けて参りました中央電気倶楽部ですが、その間、厳しい時代を幾度も乗り越えて参りました。現在に至るまでこうして歴史を積み重ねることができましたのも、脈々と倶楽部を支えてこられた先輩諸兄のご尽力や、会員各位のご支援の賜物であり、重ねて感謝申し上げます次第です。

厳しい時代が続いていますが、そういう時代だからこそ、当倶楽部は着実に歩み続け、いつまでも会員の皆様に愛していただける倶楽部であり続けたいとの思いを一層強く持ち、しっかりと活動を継続して参る所存であります。皆さまにおかれましては、今後も温かく見守っていただき、当倶楽部の事業運営にご理解、ご賛同を賜りますとともに、これまで以上にご利用いただきますようお願い申し上げます。最後にになりましたが、今年こそは健やかで穏やかな一年となり、こうしたコロナ禍からの回復の勢いが力強いものとなりますことを願っております。

皆さまの今年一年のご健勝とご多幸ならびに益々の事業発展をお祈りいたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

撮影者のひと言

瀬戸内の室津漁港。いつ行っても波静かで人の暮らしが身近に見られる。陽だまりで網を繕う年配漁師。脇で昼寝のネコ、餌を待っていつまでも動かないシロサギ。

どこを撮っても絵になる写真の宝庫だ。近くに来たときは必ず寄って写真をパチリ、カキや干物も買って帰ることにしている。

この日も早朝の出漁を待つ船団がすでに赤、青の旗を掲げて出番を待っていた。

どうぞこの一年、大漁でありますように――。

(中央電気倶楽部 写真部講師)

「出番待ち」 渡辺 瑞男 先生 撮影





日本銀行
副支店長

大阪支店

村國 聡 氏

『最近の金融経済情勢と

先行きの見通し』

村國 聡 氏 プロフィール

略歴	出身地	東京都生まれ
	出身校	一橋大学経済学部卒業
	平成6年 4月	日本銀行入行
	18年 7月	システム情報局企画役
	19年 5月	大阪支店企画役
	21年 7月	金融市場局企画役
	23年 7月	国際局企画役
	25年 6月	総務人事局企画役
	27年 6月	発券局戸田発券課長
	29年 6月	システム情報局システム企画課長
	令和元年 6月	秋田支店長
	3年 6月	現職

はじめに

皆様、こんにちは。日本銀行大阪支店の村國です。三回の大阪勤務で、関西での生活も八年目に入りました。昨年に引き続き対面での講演の機会を賜り、ありがとうございます。やはり聞き手の皆様の反応をみながらお話しできるのは、有難いと感じています。

さて、わが国では、新型コロナウ

フレについて、一年前には、供給制約による一時的な物価上昇であり、供給制約が解消すれば収束に向かうとの見方が一般的でしたが、その後のロシアによるウクライナ侵攻による地政学的リスクの高まりもあり、今では、供給制約が解消しても、インフレの収束には暫く時間がかかるとの見方が強まっています。この一年で、経済や物価を巡る情勢は大きく変わっており、今日は、世界の主要国や日本の現下の経済情勢と、先行きの見通しやリスクについて、お話しします。

（世界経済の動向）

まず、世界経済の動向をお話しします。

世界では、昨年以降、特に米国において財（モノ）への需要が急速に高まり、これが世界の貿易量の急速な拡大につながり、供給制約をもたらししました。当初、この供給制約は、感染者数の収束とともに、財か

イルス感染症が第八波に入ったともいわれ、今後、冬場における感染者数が第七波を超えるとの見方も示されています。日本においても、第七波では、行動制限が緩和され、経済活動との両立は進みましたが、依然として感染症は、日本社会が直面する大きな問題です。これに対し、世界をみると、本年前半の日本の第六波にあたる時期が感染のピークで、その後は、マスクの着用などの防疫

らサービスに需要がシフトしていけば、解消に向かうとの見方もあった訳ですが、ご承知のとおり、本年二月にロシアのウクライナ侵攻が始まり、これが特に欧州において天然ガスや穀物などの供給制約を一段と悪化させ、世界的な国際商品市況の上昇や物価の高騰につながりました。足もと、世界経済の減速を背景に、供給制約は概ね解消しつつある状況ですが、他方で、供給制約は解消しても、米欧のインフレはなかなか収まる兆しをみせていないなど、先行きの不確実性が高まっています。今日は、この辺りの背景等をお話しできればと思います。

IMFの直近（二〇二二年十月時点）の世界経済見通しをみると、二〇二二年の＋六・〇％に対し、二〇二三年は＋三・二％、二〇二三年に＋二・七％と、世界経済の成長率のトレンド（＋三・四％、一九八〇～二〇二一年平均）を下回っており、特に来年は三％割れと、減速感が強まる姿となっていま

対策を大幅に緩和したもとでも、大きく感染は拡大していない状況です。カタールのワールドカップにおいて、マスクを着用せずに大声で応援している観客の映像をみても、お分かりいただけるかと思います。世界は、ゼロコロナ政策を掲げる中国を除けば、感染症自体に対する関心は薄れてきており、足もとでは、供給制約を契機としたインフレが最大の関心事となっています。このイン

す。この背景には、米欧の中央銀行において利上げが行われるもとで、二〇二三年は、米国が＋一・〇％、欧州ではユーロ圏が＋〇・五％、英国が＋〇・三％まで経済成長にブレーキがかかり、特に欧州において、景気が後退する中でインフレが同時進行するスタグフレーションに陥るリスクが高まっていることがあります。こうしたマクロ経済環境の変化を映じて、企業の業況感（グローバルPMI）をみても、製造業、サービス業ともに、好不調の目安となる五〇％ポイントを下回っています。ちょうど一年前のこの場では、二〇二二年は、先進国で四％台半ば、新興国で五％程度の高めの成長を見込んでいたことからすると、やはりこの一年、ロシアによるウクライナ侵攻の影響が大きかったといえると思います。

先進国の財需要の高まりから深刻化した供給制約も、足もとは海外経済の減速を背景に、大きく緩和しています。国際商品市況も、天然ガス

は、欧州等における冬場の需要期を控え、高止まりしていますが、銅やアルミニウムといった非鉄金属は、コロナ前の水準にまで下落しているほか、穀物もピークから下落に転じています。

国別にみますと、米国は、FRBによる利上げの効果から、二〇二二年第2四半期のGDPは、住宅投資が減少し、前期比年率▲〇・六％のマイナスとなったものの、第3四半期は、事前のエコノミストの予想(＋一・四％)を大きく上回り、＋二・六％のプラスとなっています。この背景には、石油関連製品の輸出増加に加え、個人消費が、増勢が鈍化しつつも、引き続き増加していることがあります。米国の家計をみると、リーマンショックの時とは異なり、名目可処分所得に対する家計債務は、残高(ストック)、年間の支払額(フロー)のいずれでも抑制されているほか、コロナ後の失業給付等の財政支出やサービス消費の抑制により、超過貯蓄が積み上がっています。

し、購入者への不動産の引き渡しを保証させるために不動産業者への流動性支援を促したり、住宅ローンの要件を緩和するなどの対策を打ち出しています。不動産市場が調整局面を脱したとはまだいえない状況です。雇用面でも、外食等のサービス業や、マンション開発業者等の建設業のPMIが落ち込んでおり、直近の失業率も、政府目標ぎりぎりの五・五％にまで上昇しています。IMFの見通しによれば、中国の経済成長率は、二〇二二年の＋三・二％から二〇二三年に＋四・四％まで回復する見通しですが、ゼロコロナ政策に伴う防疫措置や、不動産市場の回復次第の面もあり、当面、先行き不透明感が高い状況が続くとみえています。このように中国の回復見通しが芳しくない中、米欧など先進国経済の減速を新興国の経済成長によりカバーすることで、成長率を押し上げていくのは難しく、来年は世界経済の減速が続くとみえています。

す。このため、物価上昇により、実質可処分所得がマイナスになるもとでも、引き続き相応の消費余力を有し、かなり高い水準まで利上げをしても、消費鈍化のテンポは緩やかとなる可能性があると考えています。

他方、欧州は、二〇二二年第2四半期のGDPが前期比年率＋二・一％となりました。本年前半は、経済活動の再開に伴い、小売・娯楽施設への人出や航空機の利用者数が増えるなど、いわゆるペントアップ需要が経済の押し上げに寄与しましたが、先行きは、ロシアのウクライナ侵攻により、冬場に向けて、天然ガスなどエネルギーの供給制約を巡る懸念が強まっています。このため、二〇二二年第4四半期のエコノミストの見通しは、▲一・二％と前期比マイナスとなる見通しであるほか、製造業・サービス業のPMI新規受注をみても、特に製造業が、景気の好不調の境と言われる五〇％ポイントを大きく下回っているなど、来年にかけて景気後退に陥るリスクが高

日本経済の動向

関西経済の動向をお話しする前に、日本経済の立ち位置を俯瞰します。まず、GDPの水準は、米国がいち早くコロナ前の水準を回復し、その後、欧州もコロナ前の水準を上回ってきているのに対し、日本は、まだコロナ前の水準を下回っています。この最大の要因は、消費の回復が遅れていることです。米欧においては、外出時のマスク着用の機会が大きく減っているのに対し、日本では、殆どの人がマスクを着用し、高齢者を中心に感染症罹患への警戒感が高いことが、外出機会の減少につながっています。CPI(総合・十月)の前年比を比較しても、米国が＋七・七％、欧州が＋一〇・七％と、日本の＋三・七％を大きく上回り、物価の伸び率には大きな差があります。このため、米国のFRBや欧州のECBは、利上げを行わざるを得ない状況となっています。また、米国と欧州を比較すると、欧州は、相対的

まっている状況です。

中国は、ゼロコロナ政策のもとで、厳格な防疫措置が継続されていることなどから、飲食サービスが前年割れとなるなど、消費に勢いがいないほか、固定資産投資も、マンション建設の減少など、不動産関連の投資が落ち込んでいることから、伸びが緩やかとなっています。このため、本年の経済成長率は、三％台前半に止まる見通しです。中国の不動産市場をみると、中国当局によるバブル抑制を企図した「三つのレッドライン」と呼ばれる不動産融資規制の導入が、恒大集団の経営危機などを招きました。足もとにおいても、不動産販売が減少し、住宅価格が下落するなど、不動産市場の調整が続いています。こうしたもとで不動産開発業者の資金繰りが悪化し、マンション建設等の工事が進まず、これが消費者マインドの悪化につながり、さらにマンションが売れなくなるといった悪循環が続いている状況です。当局も、地方政府や金融機関等に対

に経済の回復度合いも成長力も米国より弱く、従って、同じ利上げとはいえ、FRB(米国)が三・七五％、四・〇〇％まで六会合連続で利上げを行っているのに対し、ECBは一・五〇％と、利上げのテンポは大きく異なります。他方、日本は、欧州より経済の回復度合いはさらに遅れているほか、物価高とはいえ、CPI(総合・十月)は＋三・七％と米欧とはレベル感を異にしています。こうした立ち位置の違いを踏まえ、わが国では緩和的な金融政策運営が継続されています。先行きは、当面、米国の利上げペースがいつ減速するかといった点に、市場の注目が集まっています。CPI(総合)の前年比が、九月の＋八・二％から十月に＋七・七％に鈍化したことなどから、十二月のFOMCでは、利上げペースが、これまでの〇・七五％から〇・五％に減速するとの見通しが強まっており、今後、米国経済の減速とインフレ率の鈍化が確認できれば、米国と日本の金利差が縮小し、

円安一辺倒であった、為替市場の流れに変化が生じる可能性がありません。先行き為替水準が円高の方向に戻っていけば、国際商品市況の下落とあいまって、わが国におけるコストプッシュ圧力が緩和に向かうことが考えられ、来年以降の物価見通しを考えるうえで重要と考えています。

（関西経済の動向）

次に関西経済の動向をお話しします。大阪支店の景気総括判断をみますと、七月に「全体として持ち直している」と判断を引き上げた後、直近十月でも判断を維持しています。輸出は、世界経済の減速により、「一部に弱めの動きがみられている」と下方修正しているものの、個人消費を「持ち直している」、雇用・所得を「全体として緩やかに改善している」と判断を引き上げています。

企業の景況感をみると、近畿地区の短観の業況判断DIは、「良い」

再開発関連や物流施設などの投資計画が積み増されています。大企業では、統合報告書・CEOメッセージにおける「脱炭素関連」の言及回数がこの二年で顕著に増加しているほか、大企業（設備投資二百三十七社、研究開発二百十社）の脱炭素に必要な一年あたりの投資額（設備投資・研究開発）も、二〇二二年度の七兆円弱から、二〇三〇年には十兆円近くにまで増加していくとの見通しで、こうした大企業の戦略投資が関西における設備投資額を下支えしているとみています。また、企業収益をみても、大企業を中心に、概ね二〇二一年度並みの高水準の収益が見込まれています。足もと販売価格への転嫁の動きが続いている一方、原材料コストという面で見ると、鋼材などを中心に国際商品市況が下落に転じ、為替も百五十円／ドルを超えてどんどん円安が進む流れにはない中で、先行きは仕入価格の上昇の動きが一服するとの見方も出てきており、こうした流れが続けば、収益

超の1%ポイントから3%ポイントと、小幅に改善しています。業種別にみると、製造業では、化学、鉄鋼などの幅広い素材業種において、上海等のロックダウン解除後に、供給制約の影響が和らいでいることや製品価格への転嫁が進んでいることなどから、また、非製造業では、感染症第七波の影響が和らいでいることから、それぞれ改善の動きがみられています。ただし、パソコンや中華系のスマートフォン向けの需要が減少する電気機器（電子部品・デバイスを含む）や、エネルギー価格上昇により収益が悪化している電気・ガスでは、業況判断DIが大きく悪化しています。業況判断DIは、コロナ感染症の拡大により、大きく業況が悪化した後、回復の動きが続いてきましたが、足もとは海外経済の減速やエネルギー価格の上昇などを背景に、回復テンポがスローダウンしています。

次に輸出環境をみますと、半導体製造装置などの資本財や車載用半導体を改善方向に押し上げるとみています。

次に家計部門をみると、百貨店販売は、高額品が引き続き好調なほか、外出機会の増加を受けた秋冬物衣料品も堅調です。家電は、外出機会の増加とともに少し弱めの動きが続いていましたが、足もとはiPhone 14の販売が好調なほか、白物家電などで十月の値上げ前の駆け込み需要の動きがみられています。自動車販売は、供給制約の緩和とともに完成車メーカーによる減産の影響が和らいでいることから、既往受注分の納車・登録が進み、持ち直しの動きが続いています。また、サービス消費についても、人出が回復するもつで、外食の来店客数が持ち直しています。個人消費は、先行きも、感染症が再び大きく拡大しない限り、総じてみれば緩やかに増加していくとみています。物価高にも拘わらず個人消費が堅調な背景としては、旅行や外食などの繰り越された需要（いわゆるペントアップ需要）や、これ

体への需要は堅調である一方、パソコンや中華系スマホの需要減退により、メモリで在庫調整の動きがみられ、世界の関連メーカーの売上見通しも、二〇二三年にかけて大きく下方修正されています。こうしたもつで、関西の実質輸出を業種別にみると、需要堅調な一般機械や部品等の供給制約が緩やかに解消に向かっている輸送用機械の輸出が増加しており、基調としては緩やかに増加していくとみているものの、足もとは、電気機器（電子部品・デバイスを含む）やその原材料を製造する化学製品などの一部に弱めの動きがみられている状況です。

設備投資をみると、関西においては、二〇二二年度は二〇一五年度の投資額を一〇〇とした場合、一三〇に近い投資額が計画されています。製造業において、電気自動車（EV）などの脱炭素関連の能力増強投資や研究開発投資が増加しているほか、非製造業においても、うめきた二期のほか、関西万博に向けた都市

まで消費できずに積みあがった預貯金による下支え効果があるともています。他方、収入区分別にみると、値上げの動きが顕著な食料品など基礎的支出の割合が高い層ほど、消費者物価の水準以上に物価高の影響を大きく被っており、足もとの暮らし向きの評価も厳しくなっています。実質雇用者所得がマイナスに転ずるもつで、日用品や食料品を中心に、販売数量の減少や低価格品へのシフトの動きもみられており、こうした物価上昇による個人消費への影響も注視していく必要があると考えています。

雇用・所得をみると、個人消費の持ち直しにより、飲食・宿泊などの対面型サービスにおいて求人が回復し、人口減少を背景とした構造的な人手不足が顕在化してきています。こうした労働需給の引き締まりや、最低賃金の引き上げが後押しする形で、足もとアルバイト・パートの募集時の時給が上昇に転じていますが、先行きの日本経済の改善には、

賃金が持続的に上昇していくことが極めて重要な要素であると考えています。すなわち、アルバイト・パートに加えて、正社員においても、足もとの物価上昇を考慮した賃金改定、あるいは構造的な人手不足が強まるもとの人手確保を企図した賃上げの動きが広まっていくことを通じて、マクロでみた毎年の賃金の上昇率が、欧米並みに近づいていくことが重要であり、冬季賞与の支給状況や、来春のベアの動きに注目しています。

（物価と先行きのリスク）

最後のパートでは、内外の物価動向および先行きのリスクについてお話しします。米国の物価動向について、FRBが重視するPCEデフレーター（総合）をみると、前年比の伸びは鈍化しており、前述のとおり、CPI（総合）の前年比をみても、九月の＋八・二％から十月に＋七・七％に鈍化しています。こうした背

ガスは相応の在庫を確保できる見込みとなっています。もともと、ロシアを巡る地政学的リスク、先行きの不透明感是非常に高く、ロシアからのパイプライン（ノルドストリーム）経由のガス供給が完全に途絶するリスクが顕在化した場合、二〇二三年末には、在庫が相当程度圧縮される見通しです。さらに、世界的にLNGの争奪戦となっている中で、継続的にLNG輸入による代替調達を進めることは難しくなる可能性もあります。こうしたリスクが顕在化した場合、欧州における天然ガスの在庫が二〇二三年末にかけて払底することになります。この場合、商業施設の営業時間の制限や、工場生産の抑制などを含む、より徹底した天然ガス消費量の削減が不可避となり、欧州における消費・生産が大きく下押しされることになります。従って、ECBは、先行き利上げをどんどん進めてインフレ抑制を図るというより、当面は景気後退のリスクにも配慮しながら金融政策運営を行う必要

景には、当初、米国の物価を押し上げた自動車や家具・家庭用耐久財などの財の需要が減少し、価格の伸びも鈍化していることがあります。一方で、家賃や娯楽サービスなどの価格は依然として高止まりしています。サービス等の業種では、労働需給の緩和が進まず、人手不足感から賃金が高止まりしているほか、家賃も、住宅販売価格が依然として前年を上回っていることや、利上げにより住宅が売れない分、需要が底堅いこともあって、高止まりしています。

今後、追加的に大幅な利上げを行うことなく、サービス価格や家賃が下落に転じ、米国のインフレが目標の二％にまで収束していくのか、まだ十分に見通せている訳ではなく、この点は、世界経済にとって大きなリスクであると考えています。

欧州については、本年夏頃まで旅行や外食などのペントアップ需要が相応に経済を下支えしていたこともあって、物価をみても、財や飲食宿泊サービスなどの経済再開品目で伸

があると考えています。

最後に、日本の物価動向についてお話しします。CPI（除く生鮮）の前年比をみると、九月の＋三・〇％から十月は＋三・六％まで伸びを高めています。この背景としては、十月に食料品の値上げ品目数が、前月の二、四〇〇品目から六、七〇〇品目にまで大幅に上昇（帝国データバンク調べ）し、値上げラッシュとなったことがあります。また、食料品以外でも、白物家電など耐久消費財の値上げがみられるほか、被服も秋冬物衣料の需要が堅調なもとで値上げの動きがみられています。さらに財以外のサービスでも、外食において大手チェーンが値上げを行うなど、このところ値上げの動きに広がりが見られています。この点、短観で調査をしている個人消費関連企業を三十七の詳細な業種区分に分けて、先行きの販売価格見通しをみると、販売価格が下落するとした業種区分は皆無で、全ての業種区分において、販売価格は据え置きか上昇す

びを高めている状況です。ユーロ圏のHICP（総合）の前年比は、九月の＋九・九％から十月には＋一〇・七％と二ケタの伸びとなっています。他方で、前述のとおり、実質GDPは、本年第4四半期にも前期比マイナスにまで落ち込むなど、先行きは景気が後退する中でインフレが同時進行するスタグフレーションに陥るリスクが高まっています。当面、欧州経済の最大のリスクは、エネルギーの供給制約が今後どの程度強まるかといった点にあります。

欧州における天然ガスの輸入状況をみると、ロシアからのパイプライン経由の輸入が前年比▲八〇％と五分の一にまで落ち込む中で、LNGの輸入等による代替調達を同＋四五％と約一・五倍に増やしています。こうしたもつとで、公共施設や商業施設、オフィスビルなどの冷暖房の設定限度の導入や利用制限、夜間の広告照明の禁止等により、ガス需要を約一割削減することが出来た場合、二〇二三年末まで見通しても、天然

る見通しとなっています。こうした調査結果は、二〇〇七年以降の短観調査で初めてのことです。企業の価格設定行動が変化した背景には、エネルギーや穀物などの国際商品市況が上昇し、円安とあいまってコストプッシュ圧力が強まっていることに加え、飲食サービスなどにおいてペントアップ需要が顕在化していることがあります。こうしたもつとで、競合他社の値上げを眺めて、今なら値上げをしても消費者から見放されることはないといった機運が高まり、業界横並びでの値上げラッシュにつながっているとみています。

もつとも、先行きは、海外経済の減速を背景とした国際商品市況の下落により、わが国におけるコストプッシュ圧力が緩和される可能性が高いとみています。実際に企業に先行きの価格設定スタンスを聞くと、「追加的なコスト高が生じない限り、再値上げは行わない」、「十月に約二十年ぶりに値上げを行い、今年度のコスト上昇分は概ね転嫁できる」

倶楽部だより

新入会員のご紹介

(十二月理事会承認・一月入会)

【個人会員】

友田 紘輝 君(昭和十八年生まれ)
現職 税理士法人なにわ中央
代表社員
(紹介者) 藪内 正次 君

図書だより

二階図書室では、左記の図書を新たに収蔵いたしましたので、貸出等のご利用をお待ちしております。

ご利用の際は、一階受付までお申し出下さい。

◎寄贈図書

「神戸らんどミュージアム」
ご寄贈 個人会員 中島 美繪子 氏

「サイバーセキュリティ」
組織を脅威から守る
戦略人材・インテリジェンス」
ご寄贈 松原 実穂子 氏

令和四年十二月一日
午さん会講演 講師

「世界の気候と天気のおくみ」
ご寄贈 今井 明子 氏
令和四年十二月九日
午さん会講演 講師

会員増強にご協力を

お願いいたします!!

会員の皆様には、会員増強にご協力いただきありがとうございます。

当倶楽部の発展のためには、会員企業の皆様そして個人会員の皆様の新入会員のご紹介が何よりも大切です。

「明るく、親しみのある倶楽部」として会員皆様に倶楽部ライフを楽しんでいただき、大切な交流の場として活用いただけるよう事務局一同頑張つてまいりますので、何卒お力添えのほどよろしくお願いいたします。

ご入会希望

の方には、事務局がいつでもお伺いし説明いたしますので、ご紹介方よろしくお願ひいたします。

(会費・入会金)

区分	会員区分		
入会金	指定会員	1 社 (団体)	7 万円
	個人会員	新規入会	3 万円
		2～5 年未満	1 万円
		5～10 年未満	5 千円
		10 年以上	無料
月額会費 会員一名	指定会員	一律	5,000 円
	個人会員	毎月払い	4,300 円
		半年払い 年一括払い	4,050 円 3,800 円



(五階ホールのグランドピアノ)

が、引き続きご利用の際には手指の消毒・マスク着用のご協力をお願い申し上げます。

ご利用後の会議室の消毒の実施も継続致しておりますので、安心してご利用ください。

一〇〇年以上の歴史ある社交倶楽部、その会館の中にくつろぎに満ち、ゆつたりとした空間で、大切な会議やセミナー、講演会、展示会、ご商談、打合せに。また同窓会・OB会等の旧友との再会の場としてもぜひご利用ください。五階大ホールにはグランドピアノを備付けており、ミニコンサート会場として、そして、大スクリーンでシアター感覚のご利用とイベントにも多岐にわたりご利用頂けます。

当倶楽部は、交通の便も良く、低料金で十人程度からご利用が可能な大小二十三室の会議室とお稽古事にお使い頂けます和室三室、そして椅子席三六〇席の大ホールまでございます。(新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、現在は定員を減らしております。)

また、インターネットでのネット会議・セミナーもできます。

専門スタッフが、会場設営、また機材のご利用説明を致しておりますので、安心してご利用ください。

会議、セミナー、ミニコンサート等到大ホール・会議室のご利用を!!

に賃金の上昇が個人消費の増加につながっていくことで経済の好循環が実現されることとなります。今は、日本経済が先行き良い方向に構造転換が進んでいくか、重要な分岐点にあると考えています。

私の話は以上となります。ご清聴ありがとうございました。

(令和四年十一月二十五日)

午さん会講演抄録文責在記者)

「十月の改定後、値上げラッシュは一旦落ち着く見通し」との声が聞かれています。こうしたことから、十月の展望レポートにおいては、物価の先行きについて、「本年末にかけて、エネルギーや食料品、耐久財などの価格上昇により上昇率を高めたあと、これらの押し上げ寄与の減衰に伴い、来年度半ばにかけて、プラス幅を縮小していく。その後は、需給ギャップが改善し、中長期的な予想物価上昇率や賃金上昇率も高まっていくもとで、再びプラス幅を緩やかに拡大していく」との見方を示し

ています。政策委員見通しの中央値をみると、CPI(除く生鮮)は、二〇二二年度に十二・九%となった後、二〇二三年度、二〇二四年度は十一・六%まで低下する見通しです。個人的には、今回の値上げの成功体験を経て、企業において先行きの価格戦略や経営方針を見直す動きが広がっていくことが、日本経済の先行きを占ううえで極めて重要と考えています。すなわち、価格転嫁による企業収益の改善や、労使双方における前向きな取組みが、先行きの賃金の持続的に上昇につながり、さら

講演録 最近の金融経済情勢と先行きの見通し

CLUB GRAF

くらぶ・ぐらふ

◎午さん会(8月5日)

『戦没者遺骨収容に参加して』
『硫黄島の現状と課題』

毎日新聞社
学芸部

栗原 俊雄氏

◎午さん会(8月19日)

『津軽海峡トンネル構想から』
『日本の安全保障を考える』

政治と経済研究所代表
ジャーナリスト

齊藤 行巨氏

電気施設関係見学会実施

今回は「けいはんな学研都市」の研究所を訪問しました。
最初に関西文化学術研究都市推進機構（精華町）を訪問し、都市建設の背景や現状について説明いただきました。
国際電気通信基礎技術研究所／ATR（精華町）では、浅見社長から、脳情報科学分野をはじめとする最先端の研究開発の取り組みについて説明いただきました。また、大阪大学石黒浩特別研究所のアンドロイドERICA（エリカ）と人間の間でかわされる対話を体験しました。
量子科学技術研究開発機構関西光学科学研究所／QST（木津川市）では、小型がん治療装置（量子メス）の開発などの現状や未来について、QSTの研究員から説明いただきました。
奈良市の（KOTOWA 奈良公園 Premium View）では、猿沢池を眺めながら洋食ランチを楽しみました。
ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。春も様々な見学を企画しておりますので、ぜひお誘いあわせの上ご参加下さいませ。



国際電気通信基礎技術研究所／ATRにて

電社会総会忘年懇親会を実施

電社会（三十八名代表幹事 猪谷 勇三氏は十二月九日（金）、令和四年度総会を開催しました。
総会では、事業概要、諸事業の充実とともに財政健全化に努めた結果も報告され承認されました。
また五年度の年間スケジュール、会員の増強、健全財政の方策の他、二名の幹事の交代が承認されました。
引き続き場所を五階ホールに移して忘年懇親会「クリスマス＆年忘れ声楽・ピアノコンサート」明るいまへと希望を込めて」を開催。
宇留嶋美穂さん、赤堀佳奈子さん、志波奈穂さん（ツプラ）の澄んだ歌声、河合撰子さんのリズムカルなピアノの演奏に聞き入り大いに盛り上がりました。
その後三階大食堂で食事とドリンクを楽しみ盛況の内に閉会となりました。
ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



電社会コンサートの模様

青年会総会・懇親会を実施

青年会（代表幹事 石田貴志氏は、十二月五日（月）に、令和四年度総会を開催しました。議案の①令和四年度の活動報告、②令和四年の収支見通報告、③令和五年度の行事予定（案）は異議なく承認され、令和五年度の役員は、代表幹事に石田貴志氏（留任）、永木祥弘氏（留任）、池田雄二氏（留任）となりました。懇親会では、七名の参加者により本年度の反省、来年度も楽しい行事等を取り入れようとの話になり大いに盛り上がりつつ散会となりました。

今年度冬の節電について

今年度冬季、政府からの企業に対する節電要請に、当倶楽部も賛同し、本館エレベーターのうち一基を原則終日運転休止とさせていただきます。
※期間
十一月二十一日（月）
ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

令和四年度
写真部作品審査発表会

（選者 渡辺 瑞男先生）

令和四年十二月一日（木）写真部作品審査発表会が開催され、次の作品が入選となりました。おめでとうございます。

○「園田競馬場」撮影会作品

- | | | |
|-----|------------------|---------|
| 推薦 | 馬群 | 公文 昭一 君 |
| 特選 | 疾走 | 鈴木 惇 君 |
| 準特選 | 砂煙り、ゴールを目指す、園田の秋 | 野上 勝也 君 |
| 準特選 | 落馬・残念!! | 土田 博 君 |
| 入選 | ラスト スパート | 土方 利洋 君 |
| 入選 | 接触トラブル | 土田 博 君 |
| 入選 | ラストスパート | 玉置 喜章 君 |



園田競馬場 撮影会作品
「馬群」
公文 昭一 君 撮影

○「二尊院・嵐山渡月橋付近」

撮影会作品

- | | | |
|-----|---------|----------|
| 推薦 | 紅葉の川下り | 土方 利洋 君 |
| 特選 | 京のいろどり | 渡部 昌子 さん |
| 準特選 | 保津川秋景 | 玉置 喜章 君 |
| 準特選 | 紅葉 | 山本寿美江 さん |
| 入選 | 秋燃ゆる | 野上 勝也 君 |
| 入選 | 愛くるしい地蔵 | 公文 昭一 君 |
| 入選 | 秋の小倉山 | 古谷 昭雄 君 |



二尊院・嵐山渡月橋付近 撮影会作品
「紅葉の川下り」
土方 利洋 君 撮影

○自由作品

- | | | |
|-----|------------|----------|
| 推薦 | シンメトリー・大阪駅 | 野上 勝也 君 |
| 特選 | 洛北の秋窓 | 玉置 喜章 君 |
| 準特選 | メタセコイア並木 | 土田 博 君 |
| 準特選 | 大阪駅より眺める | 山本寿美江 さん |
| 入選 | 雅 | 渡部 昌子 さん |
| 入選 | 神社への道 | 鈴木 惇 君 |
| 入選 | そびえたつビル | 公文 昭一 君 |



自由作品
「シンメトリー・大阪駅」
野上 勝也 君 撮影

●●●●●
理髪室からのお知らせ

平日…午前十時～午後三時(土曜休み)
料金…カットのみ 二、〇〇〇円
(会員) カット＋洗髪 二、五〇〇円
カット＋顔剃 二、五〇〇円
フルコース 三、〇〇〇円
女性顔剃・美顔マッサージ付 一、五〇〇円
※各種趣味のビデオテープもありますので、ご自由にお楽しみ下さい。

◎絵画部(水彩画)教室

十二月度(七日・水曜日)の画材は、「静物…風景」でした。



今回は一月十八日(水)
「静物…倶楽部本館二階」です。

◎囲碁部 例会(十一月十日)
成績

三勝	九段	宮田 幸隆 君
二勝	八段	山田 進 君
〃	四段	水島 健一 君
〃	三段	田中 泰 君

(参加者 七名)
(次回例会は一月十四日(土))

◎将棋部 例会(十一月二十六日)
成績

二勝	六段	井上 清志 君
〃	六段	住原 紘 君
〃	五段	楠本 光秀 君

(参加者 六名)
(初指し会は、一月七日(土)(指導あり)
例会は、一月二十八日(土)(指導なし)

◎ゴルフ部 第五七回 例会

(四年十二月七日 晴れ
於花屋敷GC)

成績

優勝	河内 正志 君
二位	的場 広宣 君
三位	松山 三雄 君

・優勝コメント

ゴルフ部に五年前に入会し、毎月の例会にはほぼ毎回参加していましたが、成績で上位になる事は少なく、様々なゴルフ場を巡る中央電気倶楽部でのゴルフライフを楽しんでおりました。今回今年のベストスコアが出て初優勝を飾る事ができたのは感無量であります。

当日は十二月にしては風もなく穏やかで、特に一緒にいただいた石田貴志様、的場広宣様にはいろいろと盛り立てていただき感謝しております。有難うございました。

(今回は、第五八回例会
令和五年一月二十五日(水)
泉南CC)

◎撞球部 例会(四年十二月三日)
成績

優勝	高坂 定男 君
二位	富山 勝幸 君
三位	島津 二郎 君
四位	上田 豊治 君
五位	大竹 一夫 君

(参加者 十五名)

・優勝コメント

いつも楽しく練習させて頂いております。常々皆様の邪魔にならない様に気を付けている積りですが心配です。
今回の例会で優勝ですと名前を呼ばれてビックリしました。無我夢中で球を撞いた結果だと思えます。日頃練習相手をして頂いている皆様に感謝致します。有難うございました。

(次回例会は、一月七日(土))

◎俳句部

第八百四十四回 いなづま句会

俳誌「かつらぎ」主宰 森田純一郎先生指導
令和四年十一月二十六日

兼題 「万博記念公園(もみじまつり)吟行」

当季雑詠五句

選者 吟

紅葉踏み紅葉見上げつ園巡る
句碑のなきことが惜しまれ紅葉溪
冬空に細枝ペン画を描きけり

猫背なる太陽の塔紅葉濃し
鈍色の空冷えびえと観覧車

いなづま句抄

- 泳ぐ鯉水面の紅葉ゆらしをり 富山 勝幸
 - 石橋を守るは満天星紅葉かな 難波 正行
 - 園巡る幾度も落葉踏みしめて 野尻 弘輔
 - 初見なるメタセコイアの紅葉かな 渡邊 建彦
 - 冬天に太陽の塔揺るぎなし 木下 貴友
 - 山村のただ一軒の吊し柿 広田 祝世
 - 茶畑とわかる霜除けされあるも 出店智恵呼
 - カラフルな膝掛堂を守りけり 奥村 恵子
 - 紅葉なす公園空中散歩かな 友岡 淑子
 - 太陽の塔目印に紅葉狩 前野美枝子
- 闇に出て月のかげらを探す夜 留岡 寛
(○印選者選)

(注)

満天星紅葉(とうだんもみじ)…「とうだん」は室内照明用の「灯台」がなまったもののようで、秋に紅葉する「満天星紅葉」は秋の季語。「満天星の花」は春に白い花を咲かせ春の季語。(季語)
紅葉狩(もみじがり)…紅葉を鑑賞するため山野などを訪ねること。(季語)
冬天(とうてん)…「冬の空」の傍題。(季語)
月のかげら(つきのかげら)…四百四十二年ぶりの皆既月食と天王星食の様子を詠んでいます。「月」として秋の季語。

他倶楽部案内

●●●●●
清交社の午さん講演会の
ご案内

会場…ANAクラウンプラザホテル大阪
五階ガーデンルーム
時間…十一時三十分～十三時三十分

一月十日(火)

講題『夢とロマンと感動を！』

「世界一の魂の集団を目指して」
木下サーカス株式会社
代表取締役社長 木下 唯志 氏

一月十七日(火)

講題『国際人つて、何?』

落語家 桂 米團治 氏

一月二十四日(火)

講題『二〇二三年の国際政治の展望』

「揺らぐアメリカの覇権と日本の対応」

神戸大学大学院法学研究科 日本 的場 氏

一月三十一日(火)

講題『未定』

京都府立医科大学眼科科学教室 外園 千恵 氏

※状況により中止になる場合があります。

◆出席ご希望の方は、当倶楽部事務局

(三瓶)に二日前までにお申し込み下さい。

◆会費/三、〇〇〇円(食費・消費税込後日精算)
前日の午後五時以降は、キャンセル料が発生します。

☆ネクタイ着用